

認知症本人・家族教室テキストについて

1 目的

京都式オレンジプラン改定に際して行った10のアイメッセージ評価では、早期に診断を受けても、病気や生活の再構築に必要な適切な情報が得られず、インターネット等での偏った情報を見て、不安を抱えながら、周囲から孤立・孤独に陥っていく本人・家族の現状が明らかになりました。

このため、認知症疾患医療センター等の医療機関や認知症カフェ等の初期認知症の方や多職種が集まる場において、本人・家族が病気に向き合い、生活を再構築するために必要な情報やピアサポートの場を提供する取組を普及させるため、本人・家族に必要な情報を提供するための基本テキストを作成しました。

2 本人・家族教室のイメージ

(1) 実施主体

- ・認知症疾患医療センター等の診断を行う医療機関
- ・多職種が集う認知症カフェ 等

(2) 想定する主な対象者

MC I 又は認知症と診断された直後の人で直接介助が必要でない方及びその家族

(3) 内 容

6回シリーズ（120分/回）

－第1部：アイスブレイク（20分）

－第2部：講義（25分）

－第3部：交流会（75分）

※上記を想定してテキストを作成し、時間配分は実施者が任意に設定

(4) 各回テーマ

- ①認知症の基礎知識
- ②認知症と薬
- ③認知症の人の気持ち、家族の気持ち
- ④認知症との関わり方、認知症の人との関わり方
- ⑤生活上の工夫と作業療法
- ⑥支援やサービスと相談先

3 その他

スライドは使用者が自由に使用いただけるよう、パワーポイント形式できょうと認知症あんしんナビに公開します。